

# 新川水土里たより

第23号

新川農林振興センター農業農村整備広報・広聴連絡会 〒937-0863 魚津市新宿10-7 0765(22)9137【指導課】  
★管内の情報★ <https://www.pref.toyama.jp/sangyou/nourinsuisan/nougyou/niiikawa/index.html>

生産者、関係の皆様には、日頃から農業農村の整備並びに当センターの事業推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

農業農村をめぐるのは、農業従事者の高齢化や人手不足、米消費量の減退による米価の低迷、集中豪雨や猛暑による被害、さらには近年の世界情勢の影響による食料供給の不安定化、資材価格や燃料価格の高騰など多くの問題に直面しています。

こうした中、当センターでは、(1)農業の競争力強化に向けて、ほ場の大区画化や汎用化等の整



## 新川農業・農村の持続的な発展に向けて

所長 尾島 聡

備事業の実施を契機に、担い手へ農地の集積・集約化、米や大麦等と組み合わせた高収益園芸作物の導入による水田フル活用、スマート農業技術の活用による規模拡大や省力化等を推進しています。

(2)安全で安心な地域づくりに向けて、決壊時に人的被害が懸念される防災重点農業用ため池の計画的な防災工事の実施や、農業用水路への転落事故を防止するための一斉点検活動や転落防止柵の設置などを推進しています。

(3)管内には多くの中山間地域があり、こうした地域の活性化に向けて、今年度から中山間地域農業農村総合整備事業を活用し、管内全域を対象地域として用排水路整備や農道整備、恒久柵や鳥獣用グレーチングの設置による鳥獣害防止対策等を総合的に実施しながら住み良く豊か

## ニホンシカの農作物被害について

近年、新川管内でニホンシカ(以下、シカ)が急増しており、令和4年度に新川管内ではじめてシカによる農作物被害が確認されました(魚津市でぶどう被害291万円)。シカは、有毒な植物以外であれば葉、茎、花、実等なんでも食べることが知られており、今後の農作物被害の拡大が懸念されます。

シカの侵入を防ぐには、少なくとも高さ1.5m以上の侵入防止柵が必要と言われており、イノシシ等と侵入防止対策の方法が異なります。また、ネット柵の

### 農地整備事業

#### 大布施南部地区(黒部市)

本地区は、昭和43年〜45年に30a区画で整備されましたが、造成から約50年経過しており農業用排水路の老朽化が著しく、漏水・破損が多発し維持修繕に多大な労力と経費を費やしていました。また、一部10a区画のほ場が残っており、効率的な農業経営に支障をきたしていました。

本地区では、農業用排水路の改修に加えて、一部農地で区画を拡大することにより、効率的な営農が進められています。



とから老朽化が著しく、機能低下により営農活動に支障をきたしている状態でした。

本地区では、農業用排水路の改修に加えて、暗渠排水の整備・自動給水栓の設置を行い、水田の汎用化・水管理の省力化・農業経営体による農地の利用集積を促進し、農業経営の持続的な発展を図りました。

### 農地整備事業(通作条件整備)

#### 滑川地区(滑川市)

本地区は、昭和45〜60年に築造された基幹農道で、造成から約50年が経過していました。農産物の輸送や農業機械の走行に加え、大型車も含めた一般交通量が多く、舗装の破損が著しい区間もありました。また、災害時の緊急通行確保路線として重要な路線であることから、安全性が懸念されていました。

このことから、路面改良を行うことにより、施設機能の保全を図り、農業車両や一般車両の安全な走行を確保しました。



令和3年度に農業農村整備優良地区コンクールで農林水産省大臣賞を受賞した「舟川新地区」(朝日町)についての広報動画を作成しました。ぜひ、ご覧ください。



### 広報動画の紹介

### フェイスブック

「とやま水土里探訪ブログ (富山県農村整備課)」  
<https://www.facebook.com/toyama.nousonsebi>

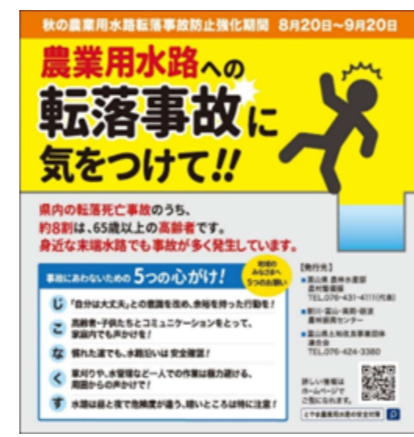
### 編集後記

令和5年度が始まりました。新型コロナウイルス感染症が5類感染症となり、徐々に日常生活が戻ってきています。より一層皆様との対話を大切に業務を進めていきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

令和5年度にスタートした県営事業を紹介します。引き続き、地元の方々の協力をお願いします。

**農地整備事業**  
**布施爪地区**(魚津市・黒部市)  
 昭和27年から28年にかけて水害復旧事業で整備された農業生産基盤の区画整理を行います。農地集積・集約化を図るとともに、「しやくやく(花卉)」等の収量・品質向上を図ります。

### 新規地区紹介



割が65歳以上の高齢者であるため、令和4年度より、高齢者向けに特化した講演も進めております。転落事故防止に向けて、高齢者の人にも呼びかけのほど、よろしくお願いします。

**農地整備事業**  
**湯上池地区**(魚津市)

排水路の破損状況

総事業費: 995百万円  
 事業内容: 用排水路工 8,240m  
 農道整備工 4,320m  
 暗渠排水工 25.7ha  
 農用地保全工 1,760m  
 工期: R5~R10  
 担当: 農地整備第二班

**中山間総合整備事業**  
**にいかわ広域1期地区**  
 (滑川市・魚津市)

滑川市及び魚津市の中山間地域の農地を対象に、用排水路や農道などの農業生産基盤や害獣侵入防止施設を整備します。持続可能な農業の維持・発展と活力ある農村地域の創出を図ります。

狭小な区画

総事業費: 900百万円  
 事業内容: 区画整理工 20.3ha  
 工期: R5~R11  
 担当: 農地整備第一班

**農地整備事業**  
**新川地区**(魚津市)

水抜きボーリング閉塞状況

総事業費: 125百万円  
 事業内容: 地すべり対策工 一式  
 工期: R5~R9  
 担当: 水利防災班

**農地整備事業**  
**黒部地区**(黒部市)

取水施設の状況

総事業費: 400百万円  
 事業内容: ため池工 一式  
 工期: R5~R8  
 担当: 水利防災班

豪雨時の流下能力の安全性や、堤体における地震時の安定性を欠くなど、外的要因により決壊する危険性があることから、ため池の改修により災害の発生を未然に防止します。

**農地整備事業**  
**中加積南部地区**(滑川市)

整備前

整備後

経年劣化による機能低下が確認されたため、対策を行います。

**完了地区紹介**

本地区は、昭和39年から45年に県営ほ場整備事業により築造された農業用排水路ですが、完成から約50年経過しており、施設の老朽化による維持管理力の増大や高齢化による労働力の確保に苦慮していました。本地区では農業用排水路の改修に加えて、一部農地で暗渠排水を実施することで、維持管理の低減や担い手への農地集積が進み、効率的な営農が進められています。

令和5年度にスタートした県営事業を紹介します。引き続き、地元の方々の協力をお願いします。



場合は、裾を持ち上げて侵入することが多いため、裾部分をペグ等でしっかりと固定する必要があります。

朝日町では、今年2月にシカが集落山際のワイヤーメッシュ柵を飛び越え、集落に侵入する事例が複数確認されました。

そこで、ワイヤーメッシュ柵の上に電気柵を設置し、柵の高さを1.5m以上にしたところシカの侵入はなくなりました。このように、シカに対応した侵入防止柵を設置することで、侵入を防ぐことがわかりました。

今後は、シカに対応した侵入防止柵の導入と併せて捕獲等も推進し、シカを含めた鳥獣による農作物被害の防止を図っていく予定です。

**営農体制確立チームを設置!**

近年、農業従事者の減少や高齢化、農業所得の減少等により、農業を取り巻く状況は非常に厳しくなっています。このような中、競争力ある「攻めの農業」を展開し、意欲ある農業者が農業を継続できる環境を整えることが重要であり、農地整備事業においては、担い手への農地集積・集約化を図りつつ、生産効率を高め、高収益作物の導入・拡大が進められています。

このため、管内の農地整備事業実施地区において、地区の実情を踏まえた営農体制を確立するため、農地サイドと普及サイドからなる合同チーム「新川地域営農体制確立チーム」が設置されました。

令和5年6月15日に第1回会議が開催され、事業内容や制度・要件等の確認、実施地区の進捗状況、地域営農の現状等について情報共有しました。

今後は四半期に1回程度、情報共有の会議を行うほか、随時

**用水路転落事故に気を付けて!**

担当同士で連絡、相談を行いながら、事業要望段階から事業完了後にわたり、農地サイドと普及サイドで連携して地域営農をフォローして行きたいと考えています。

県内では、農業用水路で発生した転落死亡事故が平成25年度から令和4年度の10年間に193件発生しており、令和4年度につきましては、11件の転落死亡事故が発生しました。そのうち、新川管内は半分近くの5件発生しております。

多発する転落事故における安全対策の推進として、行政、関

係団体や地域組織などが連携して、啓発チラシの配布や市町広報誌への掲載などの注意喚起を呼びかける広報・啓発活動を行うとともに、ワークショップによる意見集約・合意形成手法により、地域の危険箇所把握および実情に応じた対策を検討し、危険箇所マップを作成しました。

令和4年度は、県内20箇所ワークショップを実施し、うち管内では5箇所実施しました。令和5年度についても、同数を予定しています。

ワークショップの実施につきましては、事故防止に向けて市町や土地改良区など関係機関職員の方々のご協力をお願いします。

なお、事故件数のうち、約8

ワークショップ (魚津市青島)

安全施設設置 (黒部市浦山)